

第 37 回静電気学会全国大会開催案内

会期: 2013 年 9 月 10 日(火)、11 日(水)

会場: 千葉大学 教育学部 講義棟(2 号館) 2 階 2201, 2205, 2207 教室(〒263-0022 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33)

大会内容

協 賛: 安全工学会、応用物理学会、化学工学会、高分子学会、繊維学会、電気学会、電子情報通信学会、日本印刷学会、日本火災学会、日本画像学会、日本繊維機械学会、日本塗料工業会、粉体工学会、放電学会、IEEE.IAS 東京支部 (予定を含む)

学術講演: 2013 年 9 月 10 日(火)、11 日(水)

(一般講演) 10 日(火)、11 日(水)

(特別講演) 1~2 件

臨時総会: 10 日(火)

懇親会: 10 日(火) 18:00~20:00<場所: 千葉大学西千葉キャンパス 大学会館 2F パーティールーム>

会費 5000 円、同伴者(ご家族同伴歓迎) 3000 円、正会員(大学院生)・準会員(学部生) 2000 円

大会参加費: 正会員 5000 円、正会員(大学院生)・準会員(学部生) 3000 円、賛助会員 5000 円、協賛学会員 6000 円、非会員 7000 円

会場へのアクセス: JR 総武線"西千葉駅"より徒歩 15 分 あるいは京成千葉線"みどり台"より徒歩 15 分

<http://www.chiba-u.jp/access/nishichiba/>をご覧ください。

キャンパスマップはhttp://www.chiba-u.jp/campus_map/nishichiba/index.html (教育学部 2 と表記のある棟)

開催場所の詳細およびプログラムは決まり次第、静電気学会 Web ページに掲載します。なお、英文アブストラクトも 8 月に Web 上で公開しますので、特許に係る内容にはご注意ください。

参加費は当日会場受付にてお支払い下さい。なお、事前にお支払いご希望の方は学会事務局までご連絡下さい。

懇親会は当日会場受付にてお申し込み下さい。定員になり次第締切らせていただきますのでお早めをお願いします。

宿泊については学会での特別手配はありません。

第 37 回静電気学会学術講演会講演募集要項

講演および参加申し込みは静電気学会 Web ページ <http://www.iesj.org/> をご参照下さい。

応募資格: 登壇者は会員に限ります。会員外の場合プログラム作成時に除かれますので、未入会の方は講演申し込み時までに入会手続きを取って下さい(希望会員種別ご確認の上学会事務局に入会申込書をご請求下さい)。

講演時間: 15 分(講演 10 分、質問 5 分)

講演申込: 次のように、E メールにてお申し込み下さい。

次ページの<講演申込用 E メールフォーマット>記載の 12 項目をメール本文に書いてください。特に最後の英文アブストラクト(Web ページで公開します)を忘れないようお願いいたします。そして、講演原稿の電子データ(PDF 原稿)を添付して送付して下さい。

宛先: 静電気学会事務局 <iesj@iesj.org>

講演申込を受理次第、学会から「講演申込受理」の E メールを申込者宛に発送します。もし E メールが届かない場合は下記に記載の学会事務局までご連絡ください。

講演プログラムが決まり次第、講演番号などを E メールでお知らせするか Web ページ上に掲載します。

申込期間: 2013 年 7 月 19 日(金)~ 7 月 29 日(月) 7 月 29 日(月)必着のこと。締め切りは厳守願います。

連絡先: 静電気学会事務局

TEL: 03-3815-4171、または 080-1002-6209、E メール: iesj@iesj.org

学会誌への論文掲載: 提出された論文のうち 6 ページのものは、講演論文集に収録されるとともに、査読を経て採択されたものは静電気学会誌(全国大会論文特集)に原著論文として掲載されます。

＜講演申込用Eメールのフォーマット＞

上記の講演申込書を参照して、次の12項目をメール本文に箇条書きにして、講演原稿の電子データ(PDF原稿)を添付して送付して下さい。

- 1行目:「学術講演申込」,
- 2行目:分科番号(下記に掲げてある中から選択、プログラム作成上の目安とします),
- 3行目:講演題目,
- 4行目:所属先名,
- 5行目:発表者氏名,
- 6行目:発表者のよみがな,
- 7行目:連絡先の住所氏名,
- 8行目:学会誌掲載のための希望の有無(6ページの原稿の場合のみ),
- 9行目:英文講演題目,
- 10行目:英文所属先名,
- 11行目:英文発表者氏名,
- 12行目以降:英文アブストラクト

4・5・10・11項目の登壇者の記号(左に○)、所属の記号(*、**)は、上付や半角にせず全角のままでお送り下さい。
1項目当たりの情報が多くて1行に入りきれないときは、2行に渡っても結構です。

Eメールで送られたデータを参考にプログラムを作成します。

部門	分科番号
A. 静電気基礎	A-1. 電荷発生、減衰(固体、粉体、液体) / 絶縁体の電気伝導 / エレクトレット / 表面、界面電気現象 / 環境電気 A-2. 放電現象 / 高電界現象 / プラズマ基礎 A-3. 電界計算 / 静電気測定法 / その他の静電気基礎
B. 静電気応用(I)	B-1. 電気集じん / プラズマ環境応用 B-2. クリーンルームでの静電技術 B-3. 超微粒子制御
C. 静電気応用(II)	C-1. 静電塗装(粉体、液体) / 静電植毛 / 静電分離、混合 C-2. 電子写真、静電印刷および関連技術 C-3. エレクトレット応用 / EHD C-4. 静電マイクロマシン C-5. バイオエンジニアリングへの応用 C-6. その他静電気応用技術
D. 静電気障災害	D-1. 電子デバイス・機器の静電気障災害 D-2. 障災害事例調査報告 D-3. 障災害発生条件 D-4. 障災害防止技術 / 障災害関連問題

原稿の作成について

- 原稿の体裁: A4 サイズで、原稿書式の見本参考にして見やすいようにワープロで作成し(手書き原稿は受理されません)、PDF に変換してください。予稿集は**白黒**で(図表等を含めて)印刷されます。
また、**写真等**は印刷の関係上、**解像度を下げて**ください (300dpi 以下)。
英文でも結構です。図表等の大きさは、見やすさと全体のバランスをよく考えて作成して下さい。
- ページ数: 2、4 ページまたは 6 ページ(奇数ページ不可)
各ページ数の原稿についての取り扱いは、下記の囲みの記載をご覧ください。
- タイトル: 日本語と英語の両方を見本のように併記して下さい。
- 英文要旨: 講演原稿の冒頭に配置(200 ワード以内)
- 図表: キャプションも含めて、すべて英文で書いて下さい。

講演原稿のページ数および静電気学会誌への論文の掲載

講演原稿のページ数は、2 ページ・4 ページ・6 ページの 3 種類とし、以下のような取り扱いを行います。

1. 2 ページ、および 4 ページ原稿: 講演論文集に収録します。
2. 6 ページ原稿: 講演論文集に収録されるとともに、静電気学会誌(全国大会論文特集)への投稿論文として自動的に査読プロセスへ送られます。査読を経て採択されたものは学会誌に原著論文として掲載されます。尚、投稿論文としての取り扱いは学会誌投稿規定に準拠します。また、同原稿は全国大会フォーマットのまま査読を行います。採決されたものは学会誌フォーマットに変更していただく必要がありますことをご承知おき下さい。
学会誌フォーマットについては、静電気学会誌の最新の 1 号、または、<http://www.iesj.org> をご参照下さい。

春期講演会について(予告)

毎年 3 月の上旬に春期講演会を開催しています。本講演会は、静電気に関係した研究を行っている若手(主として大学院生あるいは企業・研究所等の若手研究者)による研究成果の発表を対象としています。なお、本講演での発表者は増田賞の被選定対象者となります。この講演会にもふるってご参加ください。